

◆実践校名 吹田市立南千里中学校、摂津市立第四中学校、摂津市立第五中学校

◆主題名 家族への敬愛 道徳の内容 C－家族愛

◆ねらい 父母、祖父母に敬愛の念を深め家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く。

◎ 中心的な発問 草取りをしながら、ぼくは祖母に何と語りかけていただろう。

◆本時の展開

	学習活動	発問と予想される子どもの反応	指導上の留意点及び評価
導 入	◎家族に支えられていた 事実を知る。	おじいちゃんやおばあちゃんとの思い出を語る。	○ペアワークを行い意見交流を 行う。
展 開	◎資料を黙読する。 ○登場人物の整理 ○内容理解 □「ぼく」の祖母への思い を考える。  □父から祖母の症状を聞 いたときの「ぼく」の気 持ちを考える。	<p>・ぼく（中学生） ・弟（隆：小学生） ・父母 ・おばあちゃん（孫の世話をするが物忘れがひどくなる）</p> <p>①問題集をなくされたとき、買い物帰りに出会ったとき、友だちからの伝言を忘れたとき、おばあちゃんを激しくののしった。 ぼくはなぜこんなことを言ったのだろう。</p> <p>・自分たちが困っている。 ・忘れるのだから余計なことをしないでほしい。 ・祖母は失敗ばかりする。 ・自分の祖母だと周りに知られるのが恥ずかしい。 ・友達に自分が嫌われるかもしれない。</p> <p>②「だけど」の後の「…」を言葉にすると、何と言いたかったのだろうか。</p> <p>・おばあちゃんが笑われるのを見たくない。 ・困っているのはおばあちゃんではなくぼくたちだ。 ・しっかり者のおばあちゃんだったのに変わって いくなんで信じられない。 ・どうにかしたいけどどうしていいかわからない。</p>	<p>○「ぼく」の自分本位の考え方に 気づかせる。</p> <p>○祖母の状況を理解していても、 これまで頼りにしてきた祖母 が変わっていくことを受け入 れられない「ぼく」の気持ちに 気づかせる。</p>

展 開	<p>■祖母のノートを読んだ「ぼく」の思いに共感して祖母のとなりで草をとる「ぼく」の心中を察する。</p> <p>□「ぼく」の祖母への思いの変化を考える。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>③草取りをしながら、ぼくは祖母に心の中で何と語りかけていただろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・祖母の気持ちに気付かずにごめんなさい。</li> <li>・自分勝手にごめんさない。</li> <li>・赤ちゃんの頃から面倒をみてもらってありがとう。</li> <li>・自分より家族を大切にしてくれてありがとう。</li> <li>・ぼくができることは何でも言ってね。</li> <li>・これからはぼくたちが支えるから安心してね。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>④「おばあちゃん、きれいになったね」と言ったとき、ぼくは何がきれいになったと思ったのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に草取りして庭がきれいになった。</li> <li>・おばあちゃんの心がきれいに見えた。</li> <li>・ぼくの身勝手な心がきれいになった。</li> </ul>	<p>○ペアワークを行い多様な考えにふれる中で自分の考えを深めさせる。</p> <p>○ノートの内容に触れながら「ぼく」の思いを推し量る。反省・感謝・これからの決意などに着目しながら「ぼく」の思いを深く考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;評価&gt; 家族は互いに助け合い強い愛情の絆によって深く結びれているという道徳的心情を養うことができたか。 (評価方法) ・本日の学びの記述。 ・『私たちの道徳』P184～185への記述。 &lt;評価をいかした支援&gt; ・感想をまとめて通信にする。</p> </div> <p>○「家族」から大切な家族、思いやり、家族の一員、感謝、つながりなどを受け止めさせる。</p>
終 末	<p>◎『私たちの道徳』P184～185を読む。</p> <p>◎文章で記述する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたこと、考えたことを記述する。</li> </ul>	<p>○『私たちの道徳』P185に記入。</p>

## ◆研究のまとめ

### ○授業実践について、チームとしてのまとめ

- ・ 範読の段階からしっかりと聞くことができた。
- ・ 自己評価アンケートの結果も①今日の授業は考えることができたか②しっかり発言できたか③自分自身をふりかえることができたか④新しい発見はあったか⑤資料はよかったか、の5つの項目について、たいへん思う、まあまあ思うの項目に80%以上の生徒が○をつけていた。
- ・ ワークシートの活用について、控えめな生徒が多いクラスでのみ用いた。ワークシートを活用することにより発言は苦手な生徒も長い文章でしっかりと自分の言葉で表現することができており、クラスの状況によりワークシートを使い分ける方法がより良い授業につながると思った。
- ・ 道德通信を作成し、クラスでの読み合わせをおこなうことで、それぞれの考えを深めようとした。

### ○道德の評価についての提言

#### ●授業の準備

- ・ 評価に至るまでの前段階として（どの教科でも同じであるが）、教師間の意識の摺合せ、内容項目の決定、発問の組み立てなどの確認が必要である
- ・ 評価とは、子どもの見方、感じ方、考え方をプラス思考で理解し、次の授業に生かしていくのだと考える
- ・ 評価や指導は子どもの成長を見守り、支え、励ますものであると考える

#### ●実際の評価

##### □評価の内容・観点

- ・ 道徳的実践力→「～しよう」「～したい」という気持ちの高まりを見取る
- ・ 道徳的価値の深まり→道徳的価値の大切さ、自己他者理解の深まり、道徳的価値実現への意欲を見取る

##### □評価の方法

- ・ 生徒の学習の様子に基づく方法  
発言、ワークシートの分析、授業前後の学校生活の変化
- ・ 自己評価カードやふりかえり  
自己評価カードの分析  
道德通信の発行→自分の考え方とは違う考え方の気づき  
→生き方の変容につながり、それが学校生活の変化にもつながる  
掲示ファイルの活用
- ・ 心のノート  
関連ページを見ることにより多面的な評価をおこなうことができる
- ・ 他の教師による評価  
TTの活用により道徳の授業内でのより細やかな変化や反応で評価が可能となる
- ・ 内容項目ごとではなく学期ごとのまとめ  
学期ごとのふりかえりをおこない、学期ごとの子どもの内面的資質の変容や成長を見る

## 【各校での実践の記録】

### ◆実施学年（1年）

### ◆評価を位置づけた授業実践の分析

#### ○評価の実際（評価した子どもの姿や、それをもとに行った支援）

##### 〈評価の例〉

- ・ワークシートにおける評価では、中心発問についての記述の部分で、ねらいを達成している部分にラインを入れる。
- ・ワークシートで人の意見を聞いたり、授業を受けていく過程で、意見が深められたというような内容を書いている生徒を評価する。
- ・グループワークで1.積極的に意見を述べることができた。  
2.人の意見を聞き自分の意見を深めることができた。  
などの様子を観察し評価する。

##### 〈評価した子どもの姿〉

- ・担任が行う授業より「道徳の授業」という意識が高まった。
- ・年間を通してその生徒の成長がより客観的に評価される。

##### 〈それにともなった支援〉

- ・各教師が同じ授業を複数回行うことでより完成された授業を行える。
- ・道徳の授業における一人ひとりの生徒の様子を学年の教師が共通理解できる。
- ・評価表に記入することで一人の生徒に対してのチームとしての連携した支援が行える。

#### ○成果と課題

##### 〈成果〉

- ・生徒の取り組みの姿勢が発言やグループワークなどで少しずつ変化を見せ、授業の形態が整ってきた。
- ・授業についても各教師が複数回行うことでスキルアップにつながった。

##### 〈課題〉

- ・継続させていくことで、さらに授業の質を高めていきたい。

## ◆実施学年（2年）

### ◆評価を位置づけた授業実践の分析

#### ○評価の実際（評価した子どもの姿や、それをもとに行った支援）

\*成長の様子（振り返りより）

・おばあちゃんのダサイ姿とかを友だちに見られたり頼んだものを買ってきてくれなかったらうっとうしいと思うけど、文句も言わずにおばあちゃんなりにがんばっていることがわかったから、自分が何か買ってきてあげたりしようと思った。これからおばあちゃんに優しくしようと思った。

「僕」と同じように考えていた自分を見つめ直すきっかけとなった

・自分は普段おばあちゃんに世話をしてもらうことは少ないけど、きっと小さい頃は今よりもお世話になっていたと思うから、もしおばあちゃんが生きていくのがしんどくなってきたら、自分が助けようと思いました。

祖母との生活をふり返り、感謝の気持ちを持つようになった

・～（略）～おばあちゃんを自分が支えてあげたいし、今までいろんなことをしてくれた恩返しをしたいと思いました。

祖母への感謝の気持ちとこれから支えていきたいという家族への思いをもった

・～（略）～おばあちゃん、おじいちゃんと仲良く優しくして元気でいてもらいたいと思った。少しでもいいから顔を見に行く。隆くんがおばあちゃんに嫌な気持ちがなくなって良かった。

祖父母に対する思いから、これからの自分の行動に結びつけるきっかけになった

\*それをもとに行った支援

- ・読み合わせをしながらいろいろな考えを共有し、意見交流を行った。
- ・教室・廊下に振り返りを掲示し、次の授業への意識につなげる。

#### ○成果と課題

\*2学年の全クラスで行った。4クラス中1クラスはワークシート、3クラスはワークシートなしで行った。ワークシートを使用したクラスはただ質問の答えを探し、答えを書く作業になってしまいう生徒が多かったので、残りの3クラスはワークシートを使用しなかった。他者の立場に立って状況把握をすることが難しいということが分かった。読み物教材や視覚的な教材などいろいろ工夫して授業づくりをしていく必要がある。

\*普段の授業でなかなか落ち着きのない生徒が、道徳の授業の時は話をよく聞き、気持ちや考えを発表して、しっかりと考えることができている。普段の成績のつくことのみ頑張る生徒が多いことが浮き彫りになった中、普段の授業では評価されにくいが今回のようにしっかりと発言し考えられる生徒を評価し反映することができればと考えた。

所属（摂津市立第四中学校）

## ◆実施学年（3年）

### ◆評価を位置づけた授業実践の分析

#### ○評価の実際（評価した子どもの姿や、それをもとに行った支援）

- 道徳通信の発行と交流
- 中心発問は《後悔》《感謝》《よりよく生きる》の3つが見てわかるようようにまとめて書いた。この3つの流れにより過去・現在・未来の連続性を意識させたかった。  
評価は主に子どもの振り返りを中心におこなった。
- ・ ～（略）～自分のおばあちゃんがこうなったら、（C）自分はおばあちゃんを支えてあげたいなって思いました。そして、いつもありがとうって言わないといけないなと思いました。
- ・ （B）家族の大切さや家族の絆が感じられる物語でした。おばあちゃんがかawaiiそうだったけど、これから主人公や家族がどう変わってくるかが楽しみだなあと思いました。おばあちゃんも悩んでいてどちらもしんどい思いをしていたんだと思いました。
- ・ ～（略）～自分を育ててくれた家族に、（C）次は「ありがとう」「これからもよろしく」という気持ちを伝えたくなった。（伝えないけど）この作品のおばあちゃんも「おばあちゃんらしく」困ったことがあるなら「次は孫たちに支えられ」家族として長生きしてほしい。
- ・ ～（略）～おばあちゃんがぼけてくるのは仕方ないので受け入れようと思った。（A）おばあちゃんは何にげに優しい。なくてはならない存在だと思った。これからも大切にしていこうと思う。
- ・ こんなふうを支えられるのは家族だけだと思う。（B）だから家族は絶対に大切にしないといけないと思った。老いだけは皆平等で受け止めて支え合っていかなければいけないと思った。～（略）～

振り返りの3つの下線部からは、（A）祖父母への畏敬の念、（B）家族の一員としての自覚、（C）これからの自分の在り方などがはっきりと示されており本時のめあてが達成されたと考えられる。

#### ○成果と課題

- 所属学年以外での初めての道徳授業だったにも関わらず範読の段階からしっかりと聞くことができた。
- 3クラス中、2クラスはワークシートなしで、1クラスのみワークシートを使用した。普段はワークシートを使用しないが控えめな生徒が多い1クラスはワークシートの使用を試みた。ワークシートには長い文章でしっかりと自分の言葉で表現ができておりクラスの状況によりワークシートは使い分ける方法がよりよい授業につながると学んだ。
- 導入や発問2でグループワークを試みたが今回の資料は範読に時間を要するためにグループワークに時間をとることができず形式だけとなってしまった。グループワークは時間がかかるので資料の長さに応じて使い分けなければならない。
- その時間の振り返りにはその時間のめあてが記載されており、その時間に対する評価も可能であるが、学期ごとに行くつかの資料をおこなった場合、学期ごとの通知票などへの評価の記載はどんな形式が望ましいのか。
- おばあちゃんの「あと十年、いや、せめてあと五年…」とは何を意味するのかという問いに、自尊感情の低い生徒が目輝かせて「主人公が成人するまでやろ！」と孫の成人する姿を見守りたいおばあちゃんの気持ちを想像して積極的に発言することができた。こういう個の道徳的学びのプロセスを大切に評価があればと考えた。

所属（摂津市立第五中学校）

◆参考資料

ワークシート

# 「一冊のノート」

2年（ ）組（ ）番 名前（ ）

◎ いままで家族に対して「悪いこと言った・したなあ」と思ったことはありませんか。

◎ 問題集をなくされたり、買い物帰りに出会ったり、友達からの伝言を忘れてたりしたとき、ぼくはおばあちゃんを激しくののしった。なぜそんなことをしたのだろう。

◎ 「だけど」の後の「…。」を言葉にすると、何と言いたかったのだろうか。

◎ 草取りをしながら、ぼくは心の中で祖母に何と語りかけていただろう。

◎ 「おばあちゃん、きれいになったね」と言ったとき、  
ぼくは何がきれいになったと思ったのだろう。

